N　O	教　科	科　目　名	単　位　数	必修・選択の別
２１３ （４）	農業	総合実習	３／９ （３年次までの継続履修）	必履修
開講年次	**選択群**	**系　　列**	**使　用　教　科　書　・　教　材**	
２	なし	前期：４分野ﾛｰﾃｰｼｮﾝ 後期：専攻実習（作物）	・総合実習テキスト	

目　　標

・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。
・水稲の特性や栽培に適した環境について学習し、経営と管理についての実践的な能力と態度を身に付ける。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
農業を総合的に捉え体系的系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元・作品名	学習内容	到達度目標
前期	イネの栽培	・育苗管理	・たねまきができる。 ・育苗期を出芽・緑化・硬化に分け、それぞれの生育期間に適する環境を理解し、健康な苗の育成ができる。
		・水田準備	・植え付けに適した圃場条件を理解し、整地することができる。
		・田植え	・初期除草剤散布について、除草剤を正しくより有効に使用することができる。 ・稚苗の植え付け適期を理解し、活着の良い天候条件を選び、田植えをすることができる。 ・補植として、手植えが正しくできる。
		・溝掘り	・水田における水管理の重要さを知り、手溝掘りができる。
	特別実習 当番実習	・病害虫防除	・イネの病気の症状、害虫の種類を知り、適切な農薬を選び、安全で効果的に薬剤散布ができる。
後期	イネの栽培	・収穫	・収穫適期を知り、収穫作業を正しく行うことができる。
		・乾燥調整	・もみの乾燥が品質の高い米に仕上げる過程であることを理解できる。
		・秋起こし	・もみすり機の働きと主要部の構造について理解できる。 ・刈り取り後の水田整備の必要性について理解できる。
		・育苗準備	・育苗器材の洗浄及び消毒を徹底し、育苗環境を清潔に保つことができる。 ・床土の条件を理解し、強健な苗が生育する床土を作ることができる。 ・均一な種まきができるように、正しい床土入れができる。
	特別実習 当番実習		・育苗期の環境条件を理解し、均一で強健な苗を育成でき、また風等に耐えるビニールハウスを作ることができる。

取得可能な検定や資格

・日本農業技術検定３級
・農業経営実習の就業体験をすると１単位の増加単位として認定される。